

地域密着型金融の取組状況（2021年4月～2022年3月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2021年度中の結果報告
1. 創業・新事業開拓支援	<p>創業応援セミナーの開催</p> <p>補助金および「経営革新計画」申請支援</p>	<p>当金庫と鎌倉商工会議所が共催して創業セミナーを開催しました。講師には、数多くの中小企業支援実績のある「神奈川県よろず支援拠点」から各分野の専門家を迎えました。また、特別講師として当金庫取引先の代表者をお招きし、創業時のエピソード等の貴重なお話を聞かせていただきました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講義は全てオンライン形式で実施しました。</p> <p>支援対象者は、情報通信業を営んでおり、最先端のデータ処理技術を駆使して、臨場感あふるスポーツ映像を提供する事業を展開しています。具体的には、秒感覚で競技者の位置情報を表示し、水上など、目視で確認しにくい場所で行われている競技(ヨットセーリング等)の様子を仮想空間上に再現するシステムを構築しました。競技になじみがない観客もレース展開が一目で分かり、その面白さを実感できるのが特徴です。</p> <p>当金庫は創業支援融資に応需するとともに、ものづくり補助金の申請書作成支援を行い、無事採択されたことにより予算を確保することができました。また、神奈川県中小企業団体中央会と連携して「経営革新計画」の申請書作成を支援しました。同計画は承認され、計画策定を通して現状の課題や目標が明確になりました。</p> <p>今後も同社が新たな事業を取組む際は実現可能性を検証するとともに、申請可能な補助金等を案内し、申請書の作成を支援していきます。</p>
2. 成長段階企業支援	「事業再構築補助金」申請支援	<p>ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、経済社会の変化に対応するために、新たな取組みに挑戦する事業者を応援しています。特に「事業再構築補助金」の申請に力を入れ、2021年度は114件支援を行い、52件採択することができました。</p>

地域密着型金融の取組状況（2021年4月～2022年3月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2021年度中の結果報告
	観光事業者支援についての講演を実施	産学連携先の神奈川大学が開催した「観光プラットフォーム after コロナ研究会」において、当金庫職員が観光事業者支援について講演しました。年金旅行の訪問先を東日本大震災の被災地とした試みが感謝されたことや事業再構築補助金の申請支援事例等を具体的に説明し、参会者から多くの質問をいただきました。
	政府系金融機関との協調融資	WEBシステム・ECサイトの開発を営む事業者に対して、資本強化および体制強化（主に人材・システム商品）を図るために必要な資金を日本政策金融公庫の「新型コロナ対策資本金劣後ローン」と当金庫の「コロナ新事業展開対策融資」の協調融資で応需しました。
3. 経営改善支援	専担部署による集中支援体制	<p>当金庫では、お取引先の経営改善を支援するための専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。</p> <p>特に支援の必要性が高いお取引や経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、定期的なモニタリングによる伴走支援に取り組むなど、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた支援を行っています。</p>
4. 事業承継支援	事業承継税制を活用した事業承継支援	<p>支援対象先は、地域に根ざした工務店を営んでいます。代表者は将来を見据え、10年以上前から同社で勤務してきた長男に事業を承継するために建築ノウハウの伝承や既存顧客の引継ぎなど業務面の承継を進めてきました。</p> <p>業務面の引継ぎが一段落したため、次のステップとして、資産の承継を検討することとしましたが、同社の株式は代表者が90%、代表者妻が10%保有しており、長年の堅実経営によって株価が想定以上の高額となってしまいました。そのため、後継者、顧問税理</p>

地域密着型金融の取組状況（2021年4月～2022年3月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2021年度中の結果報告
		<p>士、当金庫の三者にて協議を行い、金銭的な負担を抑えて株式を引継ぐために、事業承継税制を活用することとしました。</p> <p>同制度を申請するための計画書は、当金庫にて作成支援を行い、顧問税理士を經由して神奈川県へ申請し、無事に同制度を利用することができることになりました。</p> <p>今後は、後継者へ株式を承継するタイミングを検討し、場合によっては、相続時精算課税制度の活用も視野に入れながら、相続の進捗状況を注視していきます。</p>
	「しょうなん経営塾」を通じた若手経営者の育成	<p>次世代の中小企業経営者育成を目的としている「しょうなん経営塾」の第15期は2021年4月に28人でスタートし、受講生全員が修了式を迎えました。経営者に必要な知識を体系的に学ぶだけでなく、ビジネスチャンスを得る異業種交流の場としてご活用いただいています。</p>
5. 地域の面的再生への参画	地域の魅力向上のためのお土産開発支援事業への協力	<p>横須賀市は、豊かな自然や黒船来航の歴史といった観光資源を生かした観光産業の活性化に力を入れています。海軍カレー以外に定番のお土産といえる商品が無いことに課題を感じていました。そこで、当金庫や横須賀市、観光協会、商工会議所が連携しておみやげコンテストを開催することにしました。本取組みは、2020年度に信金中央金庫が実施した企業版ふるさと納税の仕組みを活用した地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」に、当金庫と横須賀市の連名で応募し、対象事業に選ばれたことで得られた寄付金1千万円を財源として運営しています。</p> <p>本取組みには、当金庫・横須賀市だけでなく、商工会議所や観光協会といった地域の関係団体も参画しています。当金庫は、中小企業診断士有資格者の職員を審査員として派遣し、お土産開発費用の資金サポート、事業化にあたってのアドバイス、取引先企業とのマッチングといった役割を担っています。</p> <p>第1回大会では、横須賀市内外を問わず、全国から200件を超</p>

地域密着型金融の取組状況（2021年4月～2022年3月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2021年度中の結果報告
		<p>える応募があり、本コンテストおよび横須賀市への注目度が高まりました。</p> <p>本取組みは、3年間で達成すべき目標として、①新規開発・リニューアルした商品数 6 件、②商品の売上額 270 万円/月、③経済波及効果 419 万円/月を掲げている。現在は、第 1 回大会の受賞作品に対して、2022 年秋を目標に商品化に向けた支援を行っている。</p>
	<p>地元商店街のプロモーション動画制作に協力</p>	<p>京急久里浜駅東口の黒船仲通り商店街とすずらん通り商店街がタッグを組み、両商店街を舞台にしたプロモーション動画 2 作品（「久里浜グラフィティ」、「心のおつかい便」）を制作し、「YouTube」で配信しました。「心のおつかい便」には、当金庫の職員も出演しました。</p>